

別紙 1

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名 (地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
竹富町	西表東部地区 (豊原、大原、大富、 古見、美原)	令和3年3月22日	令和3年3月22日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	584.28 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	308.81 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	25.94 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積	0 ha
ii うち後継者について不明の農業者が耕作面積の合計	25.94 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	14.50 ha
(備考)	
①は、耕地面積であり牧草地は除く。	
③ ii は、アンケートにおける農業後継者の有無を問う設問に対して、現在はいないが将来的にはわからないと回答した者。	

注：「中心経営体」には認定農業者、認定新規就農者、竹富町の基本構想示す目標とする所得水準を達成している経営体などが位置付けられます。

2 対象地区の課題

今後、中心経営体が引き受け意向のある耕作面積よりも70才以上で後継者が不明の農業者の耕作面積の方が11.44ha多く、新たな農地の受け手の確保が必要。
ただし、後継者が不明ではあるがUターン就農の予定もあるため、一概に新たな受け手が必要とは言えない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

西表東部地区の各集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者・認定新規就農者が担うほか入作を希望する認定農業者や認定新規就農者、Uターン就農者の受入れを促進することにより対応していく。また集落によっては足りない土地もあるため、町有地の貸付状況も把握し周知する。